

# 教えて！ ドクター Q&A

(株)宣通 (052)979-1602 広告

**Q** 49歳女性です。最近時々胸が痛くなりますが。癌ではないか心配です。

**A** 日本人の平均閉経年齢は50歳です。閉経が近づくと月経の間隔が不規則になつたり、経血量にばらつきが出たりします。この時期、ホルモンの分泌量にはバラつきが出ていて、いわばケチャップのように、時にどつと出たり、時にほとんど出なかつたりします。ホルモンがどつと出る時に、成長期の時のような胸の痛みが出現することがあります。特徴は、片方だけでなく両方の乳房が同時に痛くなることです。子宮筋腫の手術後などでは子宮が既にない方でも、卵巣がある限り女性ホルモンは作られますから、月経は無くても同様の乳房痛を感じることがあります。また時に帯状

疱瘍の皮疹を伴う皮膚の痛みを乳房の痛みと感じる方もいます。この場合は抗ウイルス薬による治療が必要で、豊胸術のような手術を以前受けられたような方は術後の影響で低気圧や台風が近づいたりすると痛みが出ることがあります。以前は乳がんでは乳房は痛くならないと考えられていましたが、近年は痛くなる乳がんもあると考えられています。ずっと持続する痛み、だんだん強くなる痛み、片側のみの痛みの際は乳がんの専門医による検診を受けられると良いでしょう。もちろん、50歳前後は乳がんの好発年齢です。12人に1人が乳がんになりますので、専門医による定期的な検診を基本的にお勧めいたします。



乳がん患者のQOLを重視し、皮下乳腺全摘出術・同時再建術や他院での全摘出後の再建術など乳がん治療全般及び美容形成外科手術を行っている。1997年福島県立医科大学医学部卒業。ヨーロッパ癌センター(イタリア)、埼玉医大総合医療センターなどを経て、2009年ナグモクリニック名古屋院を開院。医学博士、乳腺専門医、形成外科専門医。  
<https://www.nagumo.or.jp/nagoya>

院長 山口 悟  
(ナグモクリニック名古屋)